



学校だより 教育は愛

令和5年6月30日発行
さいたま市立本太小学校
Tel 048-882-3007
<http://motobuto-e.saitama-city.ed.jp>
e-mail motobuto-e@saitama-city.ed.jp

本年度は、新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、様々な教育活動が学校に戻ってきました。まるで暗いトンネルを脱して眩しい陽の光に向かっているような感覚さえ覚えます。

そして、1学期もまとめの月に入ります。本太小学校のすべての子どもたちに「できるようになったこと」、「分かるようになったこと」、「友達と協力できるようになったこと」など、目を見張るような成長が数多く見られました。

その成長をしっかりと確かめながら終業式まで、学びのあゆみを進めてまいります。

◆ 命を守り抜く「交通安全指導」!

夏休みを前に、子どもたちの自転車の運転や道路の横断時の注意について今一度、ご家庭でも「交通安全指導」をしていただければと存じます。

先日、交通安全協会の金子義人会長さんから次のようなご助言をいただきました。

ご家庭でのご指導の参考にしてください。

- ◎自転車に乗る時は、ヘルメットを着用し、必ず左側通行をしましょう!
- ◎一時停止を必ず守り、自転車のスピードの出し過ぎに注意しましょう!
- ◎歩行者は、停止線の1m以上後方に立ちましょう!

大切な子どもたちの命を私たち大人がスクラムを組んで守り抜きましょう!

◆ 感動はどこから来るのでしょうか?!

育成会主催のミュージカルは子どもたちと一緒に大変感動しました!

また、学校にも行事や対面での教育活動が戻ってきました! 全校揃ってお別れできた離任式、全員で集い歌った音楽朝会、6年生の親善バスケットボール大会など。

そこには、胸いっぱい「感動」が深く刻

校長千葉裕(ちばひろし)

まれました。この感動はどこから来るのでしょうか? 私はこう思います。

子どもたちが、教職員や友達との心の絆を深めながら真剣に、全力で取り組んでいる姿から来ると・・・。

子どもたち一人ひとりの真剣な眼差しがキラキラと輝きを放っています。

学校は、「感動の宝石箱」です!

◆ チーム本太小学校

子どもたちは、学校という社会の縮図の中で、懸命に学び、自らを成長させようとしています。時には、友達とのトラブルもあります。見方を変えると、子どもたちは、トラブルを通して、友情や思いやりの大切さを学んでいるのです。

さて、子どもたちや保護者の皆様からご相談いただいたことについては、本校では常にチームで対応をしております。学年全員での対応、管理職や関係主任、スクールカウンセラー等の専門職を交えての対応を行っております。その上で、保護者の皆様との連携を深め全ての子どもたちが、明るく、積極的に学べる学校づくりをしてまいります。

チーム本太小学校は、保護者の皆様と思いはひとつです。

◆ 校長通信「教育は愛」

学校ホームページ上で掲載させていただいています。子どもたちの様子を伝える「学校生活」と教育に関する私の考え「教育コラム」等を発信中です。ぜひ、保護者・地域の皆様にもご閲覧いただければ幸いです。

◎「未来社会に向けて、シン化し続ける本太小学校!」~すべては、未来に生きる子どもたちの幸せのために~